（様式２）

令和６年度三重県スクールソーシャルワーカー志願書

|  |  |
| --- | --- |
| 名前 |  |

１　スクールソーシャルワーカーを志望する理由を記述してください。

|  |
| --- |
|  |

２　今までの社会福祉業務、精神保健福祉業務、教育機関または福祉機関においての業務について記述してください。（従事した業務の年数及びその業務内容について具体的に記述してください。）

|  |
| --- |
|  |

３　ご自身の資質向上のために行っている、または、行った取組を記述してください。

※業務で行ったものは除いてください。

|  |
| --- |
| スーパーバイズを受けた経験※スーパーバイザーの役職、資格も記載。 |
| 事例検討会への参加 |
| 研修会への参加 |

|  |  |
| --- | --- |
| 名前 |  |

４　スクールソーシャルワーカーは、課題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、

学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている課題の解決に向けて支援する役

割とされています。このことを踏まえ、以下のことについて１２００字以内で記述してくだ

さい。

　【ケース概要】

２学期の終わり頃、中学校２年生の女子生徒（以下、生徒）は担任との面談で「生きていても面白くない」と話をした。同日夕方、担任は生徒宅に家庭訪問して生徒の話を聞いたが、生徒の気持ちが落ち込んでしまう理由はわからなかった。家庭訪問時、ひとり親の母親は仕事で不在していたため、翌日、担任は母親に連絡をして生徒の状況を報告した。母親は担任に、経済苦で昼夜働いていることや最近子どもを怒ってばかりでこのままだと虐待してしまいそうだと子育ての悩みを話した。なお、家族構成は母親、生徒、弟（３歳）の３人家族。

あなたは、担任から生徒について相談されたとき、どのような助言・支援をしますか。

|  |
| --- |
|  |

　※A4、両面印刷１枚で提出してください。(パソコン入力可)